

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
一中地区地域のふれあいを広める会【H23.12.1設置】	自治会長 部会長 委員長 事務局 (22名)	★	継続事業 毎月第1・3日曜日	・高齢者の居場所づくり	高齢者サロン「楽々亭」の企画運営(4月～3月) 健康体操,レクリエーション,食事(カレーライステイクアウト) 延べ500名参加		・高齢者サロンは希望者が多く,受け入れ人数に限りがある。  ・防犯パトロール隊の高齢化が問題になっている。	
		★	継続事業 毎週土曜日	・青少年非行防止・防犯ネットワークの構築	コミセンの公用車で防犯パトロール隊が地域内を巡回パトロールを行う 延べ49回/162名参加			
二中学区地域の輪をつくる会【H24.4.21設置】	コミ会長 コミ副会長 学校運営委員 自治会代表 指導課 青少年課 事務局 (15名)	1	令和7年7月4日	・地域学校協働活動コーディネーター等に関する研修会	「学校と地域の連携」「不登校支援に向けたサポート体制」「子ども達のためのサポート体制」について事例発表並びに模擬熱議に参加。	市民会議のテーマを ◎地域学校協働活動 ◎高齢者支援 二つを掲げそれぞれに委員会を立ち上げて企画実施した。  ・地域学校協働活動に関しては,研修会に参加。学区内の学校運営協議会委員と市役所担当課の参加のもと,地域の人材発掘リストを提案。地域企業をまき込んで中学生に日立ハイテク・G1タワーの見学を提案実施。学区内から発掘された土器やレプリカを「ふるさとはにわ・土器展」と称し学区の歴史について学ぶ機会を提案。開催した。参加人数は910名。  ・部活動が地域展開になった場合の受け皿について研修会を開催した。  ・高齢者支援に関しては,ゴミ出し支援は引き続き地域の協力を得ることですすめていくこと。買い物支援に関しては,免許証を返納した高齢者等のための地域内店舗の情報を収集。勝田二中生の力を借りて地図を作成中。今年度完成を予定。	・各学校運営協議会の横のつながりと役割の確認。委員の温度差がある。今後も地域と学校の協働活動の趣旨を広げていく。  ・高齢者支援事業については,情報収集した資料をもとに勝田二中生の力を借りて地図を3月末に完成することで進めている。子ども達がこの企画に携わることで,地域の現状(地域の高齢者の数や,買い物に不便を感じている方々の実態等)を私たちが伝えることができればいいと考えた。積極的に協力してくれている。子ども達の発想力は素晴らしいと感じている。今後も子ども達をまき込んだでの活動ができればいいと思う。	・引き続き地域の人材バンクの作成。  ・三役会・理事会で検討(2/5時点で未定)
		2	令和7年7月24日	・コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて	コミュニティスクールだからこそできる「社会に開かれた教育課程の実現」についての研修会に参加。それぞれの立場(地域の代表・教員・学校運営協議会委員)が一堂に介し,地域や子ども達のためにできることについて話し合った。			
		3	令和7年8月8日	・子ども達に科学への関心を深めてもらう(日立ハイテク・G1タワー見学)	勝田第二中学校2年生40名+引率者(学校3名+学区4名)計47名参加。最先端の技術開発を製造現場から学び,世界への挑戦と技術者のプライドをかけたプロジェクトに夢をあきらめない強さを子ども達は感じてくれた。			
		4	令和7年8月20日	・第1回市民会議	各学校運営協議会新委員顔合わせと年間計画について協議(教育委員会指導課・青少年課・学校運営協議会委員)人材バンクの提出			
		5	令和7年8月27日～28日	・視察研修(千葉県茂原市教育委員会)	部活動の地域展開が令和8年度から始まることを受けて,教育現場で起こっていることを理解し,地域として何ができるのか先進地域茂原市から学んだ。現在行っている人材バンクの内容をより充実させたい。			
		6	令和7年9月30日	・高齢者買い物支援	学区高齢者に対する買い物支援サービスについてサービスや特色についての情報収集を行った。現在,地図を作成することで進めている。地図の作成は勝田二中生(マルチメディア部)の協力をもらった。			
		7	令和7年10月31日～11月9日	・ふるさとはにわ・土器展	ひたちなか市教育委員会・埋蔵文化財調査センターの協力を得て,学区内から出土した遺物を展示し,子ども達や地域の方々に学区の歴史や文化に対する関心を深めてもらう。			
		8	12/15, 12/18, 1/14, 2/5, 2/19	・高齢者買い物支援(マップ)作成に向けて会議	勝田二中生と打ち合わせ。作成した地図を確認。今年度完成に向けての打ち合わせ。			

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
前渡を明るく住みよくする会【H24. 4. 21設置】	自治会長 部会長 事務局長 (17名)	1	令和7年5月23日	・令和7年度市民会議の取組について	・市民会議委員の顔合わせ ・今年度の取り組むべき課題の検討 ・事業については令和8年2月開催を予定する。今後、具体的内容の検討を進める。	・加入率向上を目指して活動してきたが、依然として加入率の低下が止まらない。今後はコミュニティの魅力・必要性などを発信していくことをテーマに活動してきました。		・年度当初にテーマ協議する。
		2	令和8年1月16日	・講演内容について協議	長谷川幸介氏による講演テーマを協議			
		3	令和8年2月24日	・コミュニティは安心の「幸せ保険」	・茨城県生涯学習・社会教育研究会・会長の長谷川幸介氏を講師に招いて「人間はつながることで生き延びてきた」「コミュニティは安心の幸せ保険」「まちづくりの文化論」などについての講演をいただいた。 コミュニティの意味を「人間の力」として考え、生命保険と同じ安心保険であると考えられること、また、コミュニティで「徘徊」は地域の力で「散歩」に変えることができること、私たちは「つながってケア(Care)する生き物で(絆ホルモン)の不思議な力を持っていることなど、今後のコミュニティ活動に大いに参考となる講演となった。			
佐野の和を推進する会【H25. 4. 15設置】	コミ会長 コミ副会長 自治会長 顧問 民生委員児童委員 佐野中学区PTA会長 つむぐ・ね代表 佐野地区商工会議所 青年部 青少年部会長 事務局 (24名)	1	令和7年6月6日	・子ども達の居場所づくりについて市民会議としてどう関わっていくか	前年度の田邊アドバイザーの助言等を生かして、テーマに迫れるように会議の活性化と深まりを図っていく ・田邊さんからの応援メッセージの確認 ・市民会議委員の顔合わせ・辞令交付 ・テーマについてのグループでの意見交換 ・グループ発表 ・次回の確認	・今年度は、子ども会の廃止があり「子ども達の居場所づくりについて市民会議としてどう関わっていくか」のテーマのもと、様々な方達から貴重な意見が寄せられ、活発な話し合いが行われた。 ・グループ討議を中心に話し合いを進め、それぞれの自治会ごとに実施可能な意見をまとめることができた。 ・市民会議の様子を広報誌に掲載し、地域住民と課題等を共有するなど、まちづくり市民会議のPRに努め、広く周知を図ることができた。	・委員の方の都合等で全員がそろわないこともあり、全員の方の意見がもらえるように、欠席の方への議事録を送付し情報の共有化を図りながら、深まりのある話し合いを進めてきた。 ・様々な立場の委員さんを選び参加していただいているメリットを生かしたい。 ・研修視察で参考になる事例等もあったので、佐野学区の学校との連携協力も図りながら、市民会議として自治会の行事のバックアップをすることで、地域の活性化につながると考えている。	・先進地域視察も含めて4回の話し合いを通して「子ども達の居場所づくりについて市民会議としてどう関わっていくか」話し合ってきたが、各自治会中心に行事が進められるように、市民会議として関わっていく会議運営にあたっていきたい。 ・高校生や大学生も含めて、地域の人材育成を加速させる方法について話し合いを深めたい。(ボランティアとしての各行事への参加等) ・今後も子ども達の活動を中心に据えて、若い世代の方が積極的に参加できる自治会や市民会議の運営を目指したい。
		2	令和7年10月2日	・テーマについてのグループ討議	「子ども達の居場所づくりについて市民会議としてどう関わっていくか」継続討議(グループ討議の要約) グループA…地域の子どもの集まる仕組みを作ろう プレイパークのような環境をつくる。 グループB…自治会ごとに工夫した行事の計画(子ども会がないため) グループC…市のお祭りやそれぞれの自治会での取り組み グループD…自治会の行事の中に子どもたちを参加対象とした事業を計画していく			
		3	令和7年11月26日	・研修視察(日立市助川交流センター)	今年度の助川学区学校子ども会の取り組み等 助川学区コミュニティ推進会の紹介 ・助川学区コミュニティ推進会の歩み ・8つの専門部の取り組みの紹介 助川小・学校子ども会の取り組み ・子ども会の再生に向けての特別委員会を設置 ・平成28年度に第1回活動 ・学校子ども会の成果(6年生のリーダーシップ、自己有用感・責任感が高まった。)			
		4	令和8年2月6日	・テーマについてのグループ討議	「自治会の中に子ども会に代わる組織はできないか?」 ・新たな組織は作らない。 ・自治会の行事の中に子どもが参加しやすい事業を計画していく。 ・子ども達の居場所づくり(自由に遊べる場所の確保)…高場荘など空き施設の活用などを検討する。			
		★	令和7年12月	・地域内への周知	広報誌に第2回と研修視察の様子を掲載			

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
大島コミセン地区 地域づくりの会 【H25.4.20設置】	地域づくりの会役員 自治会長 委員長(若しくは副 委員長)及び実践部 会長 保健推進員 高齢者クラブ 民生委員 大島中学校区PTA 青少年相談員 婦人学級連絡会 (20名)  ※社会福祉協議会の 支えあい事業(地域 福祉推進体制整備事 業)との関連で、社会 福祉協議会及び地域 福祉課(予定)の職員 も加わっている。	1	令和7年6月16日	・今年度の市民会議の取組 について	・市民会議委員の顔合わせ、委嘱状の交付 ・社会福祉協議会より支えあい事業についての説明 ・市民会議の運営や取組、課題等についての確認と意見交換	・これまでは地域の防災や高 齢者にかかわる課題を多く取 り上げて協議してきたが、今回 は地域の「子供たち」に目を向 けて課題を探ってみることと した。 会議のテーマを「子供たちの 現状と地域のかかわりを考え る」と設定した。  ・会議では、子供たちの現状に ついて把握することからス タートし、各グループの目標 テーマを決めて具体的な取組 のアイデアを出し合いながら 話し合いを重ねてきた。	・テーマ設定について は、委員の方からテー マ案や地域の課題を出 し合った中で意見を集 約して決めていきた い。  ・これまでは同一テー マを2年間のスパンで 話し合ってきたが、1年間の区切りで 進捗確認を行って報告 できるようにする方向 で考えている。  ・社会福祉協議会等の 職員を交えた深まりの ある継続的な話し合い が大切と考える。	・各グループの目標 テーマを達成していく ためリサーチを継続し て行うとともに、全体 で共有しながら具体的 な取組に向けた話し合 いを重ねていく。
		2	令和7年8月25日	・今年度の市民会議のテー マについて	・市民会議運営についての報告 ・委員長、副委員長の選出 ・テーマの決定「子供たちの現状と地域のかかわりを考える」 ・各グループ目標テーマについての協議と発表 Aグループ「子供の防犯対策」 Bグループ「子供版サロンde大島の構築」 Cグループ「チャイルドサロンの設立」			
		3	令和7年11月21日	・テーマ「子供たちの現状と 地域のかかわりを考える」に ついてのグループ協議	・市民会議運営についての確認 一 組織の再確認、構成人員、会議の位置づけ等 ・今後の会議の方向性について ・各グループの目標テーマを達成するために必要なことは？ 一 子供たちの現状を知る必要がある、子供たちを取り巻 く現状はどうか、良い面も課題となる面も掘り出 してみる ・子供たちの現状について(グループ協議と発表) 一 子供と地域とのかかわり、学校やPTAの現状、子供 会、学童保育子ども食堂の役割、遊び場、高齢者との 交流の場等	・子供たちの現状を知るため のヒアリングを実施した。 東石川小(校長)、外野小(教 頭)、大島中(生主)の先生方に 出席いただき、子供たちの現状 や実態について直接聞くこと ができた。たいへん有意義で あった。 今後にも必要に応じて学校の 協力を得ながら話し合いを深め ていきたいと考えている。		
		4	令和7年12月15日	・テーマについての協議 (全体、グループ)	・子供たちの現状についてのヒアリング① (東石川小、外野小、大島中各学校からの報告) 一 子供と地域とのかかわり状況(塾や習い事、少年団や部 活動(クラブ)、地域と連携したイベント、地域行事へ の参加)学校の現状(不登校、SNS、生活アンケート、い じめ、フリースクール、子供会加入)休日の遊び場等 ・質疑及び意見交換 一 不登校対策、校内フリースクール、悩み相談ツール、 部活の地域移行、朝のあいさつ等 ・各学校からの報告を受けて(グループ協議と発表)	・第5回では委員である各PTA 会長からのヒアリングを実施 した。子供たちを取り巻く現 状について多面的に把握する ことにもつながった。		
		5	令和8年2月9日	・テーマについての協議 (全体、グループ) ・今年度の会議の総括	・子供たちの現状についてのヒアリング② (東石川小、外野小、大島中各PTA会長からの報告) 一 学校や家庭、地域と連携した具体的な活動状況、取組 から見える子供たちの現状、課題等 ・質疑及び意見交換(グループ協議と発表) ・今年度の会議のまとめ			

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
田彦中学区地域づくりの会 【H24. 4. 14設置】	コミ会長 コミ副会長 自治会長 自治会副会長 事務局 (13名)	1	令和7年9月11日	・地域学校協働活動情報交換会 テーマ：情報共有化と地域の安全支援	背景：学校で発信している不審者情報の精度, 地域の安全支援の仕組みづくり ・(情報共有)学校と地域間の情報共有化(危機管理の視点) ・(安全支援)地域における安全支援との連携 ※別紙イメージ	・計画どおり実施できた	・高齢化が進み地域の横展開が課題(多様な集団とのつながり) ・若年世代の地域参加やきっかけづくりが課題(若年世代の自治会未加入(新規住宅建設増), 子ども会解散, 小学校PTA開催等)	・検討中 体制(役員・部会員の流動化)
		2	令和7年10月1日	・各自治会の自主防災員合同研修会の実施	研修目的 ①自主防災組織間の絆の強化(組織間の顔の見える関係を築き, 災害時に助け合える信頼関係を育む) ②組織間の情報共有化と防災意識向上の普及			
		3	随時	・自治会ホームページの構築	年々会員数の減少と高齢化が進んでいる このため若年世代等への情報発信強化と新規加入者促進 ・進捗状況：基本的な画面展開完了(デモ版), 各自治会コンテンツ作成中 ・9月中に各自治会HP担当国会議開催予定(※ネット環境不備) ・12月頃仮オープン。R8/1月運用開始			
湊中学区地域を住みよくなる会 【H23. 9. 30設置】	コミ役員 自治会長 PTA会長 保健推進員 スポーツ推進員 (15名)	1	令和7年7月1日	・第1回市民会議 ①湊中学区市民会議について ②前年度までの活動内容 ③今年度の活動について(子どもたちの居場所づくり)	①市民会議をただの話し合いだけに終わらせないで, 「2年後にはこのようになっている」とはっきりした形として残したい。 ②居場所づくりの受け入れ対象を小中学生とし, 対象日も月曜から金曜にしたい。 ③「しおかぜみなど」だけでなく, コミュニティセンターやみなと公園ふれあい館等でどうすれば子どもたちが利用しやすくなるか検討する。	・今回のテーマ「子どもの居場所づくり」は, 令和5年度より継続して取り組んできた内容である。今年度はその最終年度として, より具体的な内容の提示を進めてきた。	・PTA役員等あて職のため1, 2年で替わる委員もいて, どうしても出席率が低いことがある。	
		2	令和7年9月22日	・市民会議正副委員長と事務局との打ち合わせ ①第2回市民会議の内容の確認	①第2回市民会議の進め方について確認した。 ・「しおかぜみなど」の施設を見学し, 説明を受ける。 ・那珂湊コミュニティセンター, 湊公園ふれあい館, 那珂湊児童館各施設の概要と利用の仕方を確認する。	・「子どもの居場所づくり」として相応しいとした「しおかぜみなど」の施設を市民会議のメンバーで見学し, その可能性等を確認した。		
		3	令和7年9月28日	・第2回市民会議 ①「しおかぜみなど」の施設見学 ②子どもたちの居場所づくりについて具体的協議 ③今後の活動について	①「しおかぜみなど」の調理室, 多目的室, 授乳室, トイレ, 体育館, グランド, 「みなとと広場」等を見学し, 説明を受けた。 ②那珂湊コミュニティセンター, 湊公園ふれあい館, 那珂湊児童館の各施設の利用について確認した。それぞれの施設の特徴を小中学生に周知する資料を作成することとした。 ③「子どもたちの居場所づくり」の協議の延長線上に, 「部活動の地域展開」があるので, 市民会議としても市教委にその説明会の実施を求めていく。	・このテーマの延長線上に「休日の部活動の地域展開」があるので, 市教委にその説明を求め, 改めて休日に部活のない意義や課題, 対応を協議できた。		
		4	令和7年12月16日	・部活動の地域展開説明会 ①ひたちなか市教委の説明 ②質疑応答 ※市民会議のメンバーを含め45名参加	①市教委より, 部活動地域展開のねらい, 今後の見直し等についての説明があった。 ・来年度4月より原則として休日の部活動は中学校では実施しない。 ・今年度1~3月, 部活地域展開の試行期間(休日練習)とする。 ②少年団やスポーツクラブの指導者, 小中学生の保護者等約10名より説明に対する質問があり, 市教委が答えた。			
		5	令和8年2月26日	・第3回市民会議 ①子どもの居場所づくりについての総括 ②来年度のテーマについて	①子どもの居場所について, 「しおかぜみなど」を中心にコミセンや児童館等の利用情報を各学校に提供し, 活用を促す。 ②来年度の市民会議のテーマについて, 幅広い視点で検討した。			

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
美乃浜学区明るい地域づくりの会【H24.6.1設置】	コミ役員 自治会長 自治会副会長 部会長 青少年相談員 女性学級 防犯協会 (18名)	★	令和7年4月25日	・旧平磯小学校跡地利活用について住民への告知(No.1)	移転について住民への告知を回覧 ①旧平小A校舎に移転(R7年度から改修工事、R8年度移転見込) ②体育館と災害井戸解体(体育館解体後は公園とする) ③移転後は市防災備品収納場所を確保 ④津波避難の考え方	・移転について 旧校舎や体育館解体の案内を住民に通知し、各実践部会や市民会議でも進捗状況を説明。広報誌でも案内をした。	・統合に向けて進めていく課題についての洗い出し ①財政の効率化 ②活動の多様化や交流促進 ③管理団体や役員体制など	・移転について 8月から9月にかけてコミセンの引越しを予定しているが、役員会を含め部会にも協力を要請する。
		★	令和7年8月10日	・旧平磯小学校施設解体工事及び施設整備工事実施予定について住民への告知(No.2)	旧校舎・体育館解体工事及び新校舎整備工事のスケジュール案内を回覧 ①B棟校舎、体育館解体工事(R7.10月～R8.4月) ②A校舎、駐車場整備工事(R7.12月～R8.6月)	・阿中学区コミ組織との統合について 統合に向けての会議を阿中学区コミ組織と事務局レベルで重ねた。それを受けて市民会議で説明し、住民に向けて統合への案内を発信した。また市民会議のメンバーからは早く阿中学区コミ組織と合同での市民会議を実施すべきだ等の意見があり、2月28日に初合同市民会議を開催した。会議では9年4月統合に向けて足並みをそろえ、各委員会の設置など喫緊の重要課題について参加者全員が共有認識した。	「準備」 ①名称をどうするか ②新運営規約(会則)、会計(予算)をどうするか ③設備・備品の整理、及び相互施設の活用 ④イベントや行事の合同開催、利用者の交流等 ⑤住民への案内:利用者や地域への説明(説明会や広報誌、回覧等) ⑥住民からの不安や反対意見に対する対応 ⑦1月25日に統合への案内について地域住民に回覧	・阿中学区コミ組織との統合について 合同市民会議を実施し、方向性や今後の予定などを確認し、継続的な会議を開催。 9年4月の統合に向けて8年度総会においての議決事項として提案し、承認を受ける。(阿中学区コミ組織も同様に行うことになっている)その後コミ組織「組織統合準備委員会」を立ち上げ、名称や場所、会則等を決めていく。その他、運動会、コミまつりなどの行事についても検討する。
		1	令和7年5月22日	・阿中学区コミ組織との統合に向けた討議	第1回事務局会議 (美乃浜学区コミ組織3名・阿中学区コミ組織3名) ①統合に向けた行事の統一化 ②今後統合に向けてお互いの市民会議内容を共有する			
		2	令和7年8月8日	〃	第2回事務局会議 (美乃浜学区コミ組織2名・阿中学区コミ組織3名) ①阿中学区コミ組織より統合に向けた市民会議での内容報告 ②事業、予算について ③市民会議について ④文化部会同士でのコミまつりの展示・作品製作について			
		3	令和7年9月11日	〃	第3回事務局会議 (美乃浜学区コミ組織5名・阿中学区コミ組織7名) 情報交換及び今後の進め方について討議			
		4	令和7年12月23日	〃	第4回事務局会議 (美乃浜学区コミ組織3名・阿中学区コミ組織4名・市民活動課2名) ①今後の行事について ②統合は住民の総意を得てから ③2月の合同会議の開催 ④8年度総会で双方ともに統合の案件を決議事項として入れる			
		5	令和7年9月29日	・第1回市民会議	統合に向けた1回目の市民会議(オブザーバー:市民活動課) ①移転のスケジュールについて ②統合に向けての協議			
		6	令和8年1月19日	・第2回市民会議	統合に向けた2回目の市民会議 ①統合に向けての協議進捗状況について地域住民に回覧 ②解体工事の進捗状況			
7	令和8年2月28日	・第1回合同市民会議	統合に向けた阿中学区コミ組織との合同市民会議 (美乃浜学区コミ組織19名・阿中学区コミ組織16名・市民活動課3名) ①両コミのこれまでの経緯の発表 ②統合に向けた今後の予定について					

令和7年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	構成委員(人数)	No.	開催日	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
阿中学区明るく住みよい地域をつくる会 【H24. 4. 21設置】	コミ役員 自治会役員 地区ごとの代表者 (各地区2名) 美乃浜学園PTA代表 (20名)	1	令和7年6月12日	・令和7年度の市民会議の取組について	・市民会議と役員会との合同会議として実施 ・今年度の市民会議のテーマについて説明 ・コミ組織統合について、自由に意見を出し合う	・令和9年度予定の美乃浜学区コミ組織とのコミュニティ組織統合に向けて、現実的な面を考へての具体的な話し合いが進んだ。 ・自治会との連携、地域住民への周知、美乃浜学区コミ組織との相互理解が進み、コミ組織統合への方向性が見えつつある。 ・コミ組織の活動について、コミ組織の統合について、住民の方への周知及び住民の方の理解を得ることを目的として、今年度4月より、2ヶ月に1回、事務局だよりを全世帯に配布してきた。	・コミ組織統合についての町民への周知、町民の理解を得て、統合を進めることができるか。 ・統合に向けた計画的な話し合いの推進ができるか。 ・統合後に予想させる課題、自治会との連携のあり方等	・令和9年度の統合に向け、美乃浜学区コミ組織、市(市民活動課)と引き続き話し合いを深めていく。 ・阿字ヶ浦地区の将来を見据え、阿字ヶ浦自治会との協議を継続して実施していく。
		2	令和7年7月31日	・コミュニティ組織統合について	・市民会議と役員会との合同会議(オブザーバー:市民活動課) ・コミ組織統合について、自由に意見を出し合う(前回の継続)			
		3	令和7年8月30日	・地域防災訓練	・8月30日の市防災訓練に合わせて、自治会と連携して実施 ・阿中学区コミ組織として介護福祉講習、炊き出し訓練を実施			
		4	令和7年12月18日	・コミュニティ組織統合について	・市民会議と役員会との合同会議(オブザーバー:市民活動課) ・スポーツ・レクリエーション及びコミュニティ文化祭の実施状況を踏まえ、コミ組織統合をひかえた両行事の今後のあり方を話し合う ・阿字ヶ浦地区における今後のコミ組織と自治会のあり方について話し合う			
		5	令和8年2月6日	・コミュニティ組織統合について	・阿字ヶ浦自治会役員と合同会議を実施 ・美乃浜学区コミ組織とのコミ組織統合について、これまでの経緯と今後の予定について説明 ・統合には、自治会役員、組長、町民の理解と協力が不可欠であることを伝えた			
		6	令和8年2月28日	・コミュニティ組織統合について	・美乃浜学区コミ組織と合同会議を実施 ・令和8年度の動き、令和9年度統合(予定)後の動きについて話し合う			